

福井県

# キッズデザイン 「子どものまち」づくり

ガイドライン



what's kids design ?

キッズデザイン  
「子どものまち」づくり  
とは？

what's kids design ?

子どもたちが健やかに成長するためには、豊かな自然に十分に触れ五感を磨くことや、異年齢の子ども集団や若者から高齢者まで多様な年齢の人たちと交流するなど、生活の基盤である地域において学んでいくことが大切です。

そこで、県では子どもの安全・安心の向上や健やかな成長など子どもが育つ環境を、住民、行政、関係機関がともに考え、創り上げる、「共動」による『キッズデザイン「子どものまち」づくり』を県下に普及していきたいと考え、ガイドラインを作成しました。

指 針

1

## 子どもが安全で安心して 外出できる環境づくり

現在、子どもが利用する生活道路への通過交通の流入は深刻な問題であり、道路整備も歩行者からの視点ではなく、車を中心として行われているのが現状です。また、最近では、道路上での不審者や犯罪の被害も発生しています。

そこで、身近な生活道路を安全な歩行空間にするとともに、地域コミュニティとのふれあいの場とすることにより、子どもが安全で安心して外出できる環境づくりをめざします。

### たとえば・・・

- 楽しくて安全な歩道
  - 快適な歩行部の整備
- 明るい歩行空間
  - 街灯や防犯灯の整備
- 車の通行の抑制
  - 車道幅の縮小、速度規制、通行規制
- 歩行者と運転者への注意喚起
  - 道路標識、路面標示
- 地域住民の目配り、気配り
  - 見守り活動の推進、車利用の節制



安心な歩道



## キッズデザイン 「子どものまち」づくりの 基本理念

子どもが安全で安心して  
のびのびと遊び、学ぶことのできる  
「子どものまち」をめざして



休耕田を利用した花畑



### たとえば・・・

- 創造性を育むことのできる空間
  - 手作りの遊具、子どもだけの家
- 遊びの伝承、指導
  - 遊び方の伝承、プレイリーダーの育成
- 誰もが利用しやすい魅力的な公園
  - 使いやすい公園設備
- 心のゆとりを育てる住まいの環境
  - 空き地、庭を利用した花畑や遊べる道路
- 子どもが安心して立ち寄れる場所
  - 地域の公民館・集落センターの活用

指 針

2

## 子どもが屋外に出たくなる 環境づくり

子どもたちは、自発的に遊ぶことで、新しいアイデアを生み出したり、未知なるものを探索したりといった創造的な活動を展開します。特に、外遊びは、のびのびとした全身活動であるとともに集団的な活動が多いため、運動機能の向上や社会性の発達にも重要です。

そこで、子どもの自由な発想から遊びや活動が展開できる場、安心して立ち寄れる場などを確保することで、子どもが屋外に出たくなる環境づくりをめざします。

## たとえば・・・

- 学び育つ空間  
→自然を活用した遊び場、季節感あふれる広場
- 地域の施設等を活用した子どもの居場所  
→古民家での生活体験
- 学び育つ機会  
→ボランティアを通じたまちの清掃
- 子どもが地域に誇りを持てる活動  
→季節感あるみちづくり、花いっぱい運動の推進
- 地域の大人と子どもの交流  
→地域の歴史・文化の伝承、地域の危険箇所の点検



## 指 針

# 3

## 子どもの経験を豊かにする環境づくり

子どもが心豊かに成長するためには、地域で子ども同士や大人と関わりながら、自然体験や社会体験などの多様な体験を積み重ねることが重要です。

そこで、まちの川や森、田圃、施設などの資源を活用し、地域での交流を活性化することで、子どもが楽しく活動し、経験を豊かにする環境づくりをめざします。



地域での花壇づくり

基本理念のもと、住民、行政、関係者がともに、子どもの視点に立って、子どもにやさしいまちづくりを進めていくことが重要です。

この理念に沿った、キッズデザイン「子どものまち」づくりを実践するための4つの指針を示します。

## 4つの指針

- 1 子どもが安全で安心して外出できる環境づくり
- 2 子どもが屋外に出たくなる環境づくり
- 3 子どもの経験を豊かにする環境づくり
- 4 地域で子どもを育てる体制づくり

## みんなでまちを点検



## たとえば・・・

- 地域住民の意識づくり  
→地域住民の「子どものまち」づくりに対する理解、意識づくり
- まちづくりをみんなで進めるための役割  
→①住民の役割…地域活動への参加  
②企業の役割…地域への貢献  
③行政の役割…まちづくり活動への支援
- 「子どものまち」づくりへの参画  
→子どもたちの参画、まちづくりを実現のための体制、「子どものまち」づくりの継続的展開

## 指 針

# 4

## 地域で子どもを育てる体制づくり

「子どものまち」づくりを着実に進めるためには、地域の大人たちが子どもの問題に関心を持ち、子どもの心を豊かに育むための活動に参加することが大切です。

そこで、地域住民の意識の醸成、関係機関(者)の連携強化、住民主体の継続的なまちづくり活動などにより、地域で子どもを育てる体制づくりをめざします。

## & キッズデザイン「子どものまち」づくり モデル地区での取組み

### モデル地区

福井市社南地区 小浜市今富地区  
大野市和泉地区 鯖江市神明地区  
永平寺町御陵地区

### <ワークショップ開催状況>

キッズデザイン「子どものまち」づくりのモデル地区として、県内5地区においてワークショップを開催しました。

モデル地区では、子どもと親、地域の関係者が集まり、日頃自分たちの住む地域に感じている危険な箇所や不便な点を点検、確認しました。



福井市社南地区



鯖江市神明地区



永平寺町御陵地区

### <モデル地区での取組み状況>

ワークショップでの意見などを踏まえ、「子どものまち」づくり事業(県事業)を活用して地域で子どもを見守る活動や子どもの活動の場の提供などのさまざまな動きが進められています。



淵きつね公園(福井市社南地区)



神明こまわり隊(鯖江市神明地区)



神明公民館夢みらい館(鯖江市神明地区)



福井県健康福祉部子ども家庭課

福井市大手3丁目17-1

TEL 0776-20-0341 FAX 0776-20-0620

E-Mail kodomo@pref.fukui.lg.jp

URL <http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kodomo/>



健康長寿の福井